



BUILD A BETTER WORLD FOR WOMEN AND GIRLS

2024-2026年2カ年の目標案

世界中の女性と少女が直面している課題は広範囲にわたりかつ複雑で、深く根付いた社会規範、制度上の不平等、差別的慣習に起因しています。このような課題に直面した場合には、ゾンシャンは行動を起こす準備ができています。

私たちは共に、シナリオを書き換え、女性の権利が人権であり、持続可能で公平な未来が何世代にもわたって約束される世界を実現する力を持っています。ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と少女のエンパワーメントを実現するために、私たちは一丸となって持続可能な開発目標5を支持しましょう。それは単なる目標ではなく、いかなる女性も少女も取り残されることなく、彼女たちの声が届き、確実に彼女たちの夢と可能性が生まれ、実現されることを約束するものなのです。

2024-2026年の国際ゾンタ2カ年の目標は、国際ゾンタの使命、ビジョン、戦略計画に沿ったものであり、2024-2026年の2ケ年の焦点を明示しています。2カ年目標は、女性と少女のためのより良い世界を築くために、私たちのグローバルな組織が今後2ケ年に集中的に取り組むべき最も重要な項目を掲げています。

これらの2ケ年の目標と平行して、私たちは、国際本部チームが実施し、国際ゾンタ理事会が監督する日常業務の目標と主要業績評価指標を含め、包括的で詳細な運営計画を立てています。

2ケ年目標は、私たちが国際ゾンタの戦略的計画を一致して実施することを保証するものです。国際ゾンタとその会員は、ジェンダー平等という同じ究極の目標に向かって奔走しています。私たちは、ゾンタ、私たちの活動環境、そして社会にとってのあらゆる行動の持続可能性を考慮しながら、超党派、無宗派の組織で、情熱を持って共に行動します。私たちは女性と少女の人権に焦点を当てています。2年ごとの組織構成ではありますが、私たちは将来への長期的視野を持ち、ゾンタの事業の継続性を確保しています。

2023年に発表された戦略計画に従って組織を運営する必要性を強調するため、これらの2年間の目標は、戦略計画において特定された4つの主要目標の下に分類されています：

**信頼性と
発信力**

クラブの成功

**リーダーシップと
持続可能性**

**同じ志を持つ団体や
支持者との協働**

以下に示す2カ年目標の中には、上記の複数の重点分野に関連しているものもありますが、ここでは2カ年目標のうち、1つの重点分野のみに分類しています。

2カ年目標には、戦略計画に沿った地区とクラブのための一定の目標が含まれていますが、地区とクラブは、地域のニーズや状況に合わせて独自の目標を立て、実施すべきです。

2026年にバンクーバーで開催される国際大会では、これらの2カ年目標がどのように達成されたかについて報告書が出されます。加えて、2026年大会は、私たちが国際奉仕事業や教育プログラムで達成したことを分析し、女性と少女のためのより良い世界を築くために今後どのような道を進むべきかを検討する重要な節目となります。また、2024-2026年計画の間に、2カ年目標に沿ってゾンタの運営を変更する可能性もあります。

2026年バンクーバー大会は、持続可能性に焦点を当て、ゾンタスピリットを実践し、新旧の友人と出会い、女性と少女の人権を守るための私たちの成功を祝う機会となります。目的を持って楽しむ場となることでしょう！

信頼性と発信力

ゾンタは、ジェンダー平等に関する信頼できる、発信力を持ち活動し、ジェンダー平等のための変化を推進します。国際ゾンタの信頼性と可視性を高めることに焦点を当てることで、私たちはゾンタの使命達成に近づけます。多くの行動を起こす必要がありますが、2024-2026年の2年間、私たちは以下の行動に焦点を当てます：

- 国際レベル、地区レベル、クラブレベルでのアドボカシーと奉仕活動では、以下の分野に重点を置く：

女性に対する暴力

気候正義

女性を意思決定の 場に

教育の平等

これは、すべてのクラブが4つの重点分野すべてについて活動を行うべきだということの意味するものではなく、地域のニーズに基づいて最も適切に必要な分野を選ぶことができます。

- 女性の権利とジェンダー公平のアドボケート（提唱者）となる方法に関する研修プログラムを開発し、開始します。
- アドボカシーの分野では、ジェンダー平等を達成するために、女性と少女の人権を推進させることに重点を置いています。そのため、ゾンシャンがジェンダー平等の提唱者として、ゾンシャンがより効果的に活動できるようにするため、コーカス、組合、または同じ志を持つ団体が、全国レベル、地区内、または地区を越えて、まだそのようなグループが存在しない地域に構築されます。コーカス、組合、その他の同じ志を持つ団体の活動は、国際ゾンタのアドボカシーと情報発信により傘下に置かれる事で、ゾンタのアドボカシーの真の活動範囲を世界に示すこととなります。
- ゾンタ独自のアドボカシーキャンペーンとして、「ゾンタは女性に対する暴力にNOと言う」キャンペーンの企画とフォローアップを支援するため、新しいワーキンググループが設立されます。このワーキンググループは又、ジェンダーに基づく暴力は深刻な人権侵害であり、終わらせるために世界中のアドボカシー活動をフォローします。Zonta Says Noサミットは2年に2回開催されます。
- 年4回、ゾンタ・バーチャル・アドボカシー・シリーズが開始され、注目を集めるトピックについて質の高い講演が行われます。
- 国際奉仕プロジェクトには明確な焦点があり、ジェンダー平等を妨げている根本原因に取り組むことを目的とし、長期的な影響力を持ち、持続可能で体系的な変化をもたらすためのアドボカシー活動との明確な関連性を持っています。
- 米国ユニセフおよび国連人口基金（UNFPA）とのパートナーシップによる主要な国際奉仕プロジェクト「児童婚の終結」は、年に一度の特別なバーチャルイベントを通じて、ゾンシャンたちにプロジェクトの進捗状況を確認し、児童婚終結の分野で行われているアドボカシー活動についても定期的に会員に報告します。
- ゾンタの教育プログラムは、魅力的で意義があり受賞者にとって有益であると同時に、他の組織との違いを際立たせ、ゾンタの知名度と信頼性を高めます。

- ゾンタは、ジェンダー公平の為に世界的に影響のある勢力として、関連性を保ち、焦点を絞り、世界的に注目される存在であり続けます。これを支えるのが、世界的に連携し、共有される以下の年間ベースの活動の日です：

国際女性デー | ゾンタ・ローズ・デー

3月8日

この日は、ジェンダー平等の達成を目指すゾンタの目標について話し合い、意思決定の立場にある女性をアドボケートし、国連、アフリカ連合、欧州評議会におけるゾンタの深い関与と活動を強調する日です。

アースデイ（地球の日）

4月22日

この日は気候正義のための行動の日であり、気候変動に関するゾンタの声明を推進する日です：「ジェンダー平等の問題」に関するゾンタの声明とシンクタンク「ゾンタはZonta Says Nowと言う」の活動日。

国際ガールズ・デー

10月11日

この日は、教育の平等と児童婚防止、そしてこれらの分野におけるゾンタの活動を強調し、未来に向けた一日となります。

ゾンタは女性に対する暴力にノーと言う

11月25日～
12月10日

Zonta Says NO to Violence Against Women（ゾンタは女性に対する暴力にNOと言う）キャンペーンは、ジェンダーに基づく暴力を終わらせるというゾンタの継続的な取り組みです。

これは、すべてのクラブが4つの「日」に活動を行うことを意味するものではなく、奉仕活動やアドボカシー活動に最も適切に必要な重点分野と同様に、活動やコミュニケーションの日程も地域のニーズに基づいて選ぶことができます。しかし、11月25日から12月10日までの「16日間の活動」の期間中は、100%のクラブとゾンシャンが参加し、地域やソーシャルメディアで認識を高め、女性と少女の安全と保護を改善する法改正のために行動します。

- Remarkable Women, Powerful Stories（素晴らしい女性たち、パワフルなストーリー）シリーズは、ゾンタ以外の世界でも知名度を上げるため、女性に対する暴力、気候変動対策、意思決定の場にいる女性、教育の平等などに焦点を当てたハイレベルなゲストを迎え、ポッドキャスト（オンライン視聴番組）として再構築され世界的なポッドキャスト・プラットフォームで配信されています。
- 国際ゾンタの慈善活動やプログラム活動を紹介し、寄付者やその他の出資協力者に進捗状況や成果を伝え、より多くの個人や組織にゾンタの人生を変える活動を支援してもらうため、四半期ごとに出資協力者向けのニュースレターを発行しています。

クラブの成功

クラブの成功に焦点を当てることで、女性と少女の為のより良い世界を築くための活動を支える強固な会員基盤を維持します。以下の活動を行ないます：

- ゾンタスピリットを育むため、国際ゾンタ理事会は会員とともにゾンタの基本的価値観と会員行動規範を作成し、相互理解と尊重の文化を育むとともに、健全で繁栄するゾンタクラブを支援します。
- クラブ会員、ヤングプロフェッショナル、賛助会員、国際名誉会員、元国際会長のための新しい会員戦略が準備されます。法人会員や学生会員など、新たな会員カテゴリーの可能性も検討します。最新の報告書は、バンクーバーで開催される2026年大会で発表される予定です。
- ジェンダー公平、教育の平等、気候正義、意思決定の地位にある女性、女性に対する暴力などに取り組む有意義な地元クラブのプロジェクトを表彰し、支援するためのゾンタ・コミュニティギブバック（地域社会に還元）助成金プログラムを設立することの利点と実行可能性について、ゾンタ女性財団と協力して実現可能性調査を行います。この報告書は、バンクーバーで開催される2026年大会で発表される予定です。
- 2025年には新しく年1回の「Share Your Story 祭」をバーチャルで、2026年にはバンクーバーで開催される国際大会に於いて会員が対面で集まり開催されるよう、可能性の検討を行います。
- 新クラブの結成は重要であり、この重要な仕事は、各地区でクラブ・クリエイターを配置し、彼らの努力を支援するための追加リソースを提供することによって、継続されます。
- ゾンタは、国際奉仕プロジェクトを通じてだけでなく、ゾンタの新加盟国を承認し、これらの新加盟国でクラブを結成することによって、ゾンタがまだ拠点を置いていない国々で、女性と少女の為の良い世界を築くことを積極的に取り組みます。
- 新しいゾンシャンを獲得するにあたっては、多様性と包括性をより重視し、さまざまな性別、年齢層、民族、その他あらゆる背景を持つ人々を歓迎する環境を構築します。
- クラブは、ゾンタの使命に取り組み、ゾンタスピリットを育むゾンタ会員を歓迎し、鼓舞する雰囲気を用意して機能します。クラブは、国際ゾンタから提供されたツールを用い、各クラブ内でどのような改善ができるかを批判的に分析し、国際ゾンタの戦略的プランに沿いながら、クラブ会員にやる気を起こさせ、将来にふさわしい環境となるようにします。
- 他国のクラブとの親睦を深め、世界的なゾンタスピリットを高めたいクラブのために、姉妹提携プログラムを開始します。

リーダーシップと持続可能性

ゾンタのビジョンを達成し、ゾンタの長期的な存続と成功を確実にする為に、ゾンタは時間と資金の両方を含むリソースを管理します。ゾンタの使命の効果的に達成する為に、ガバナンス、リーダーシップ、内部構造に取り組みます。持続可能性は、女性と少女の人権が認められ実行され、平等で責任ある、環境にやさしいクリーンな未来を築くための行動にとって極めて重要です。以下の行動を行ないます：

- 戦略計画は、常に国際ゾンタ理事会により監視され、それが適切なものであり、適切に実施されることを確認します。それは決して最終的なものではなく、生きた計画であり、その実施状況は監督され、必要であれば変更される必要があります。
- 長期的な財務計画に焦点を当てるため、10年間の財務予測は定期的に更新されます。
- 寄付の傾向と投資戦略は継続的にモニターされます。クラブと賛助会員は、国際奉仕プロジェクトと教育プログラムへの参画を果たす為、ゾンタ女性財団の資金調達目標を支援しています。ゾンタ1919 Legacy Giving Circle（遺産寄付サークル）は、財団大使チームによって推進され、毎年25名の会員増加を達成しています。
- 国際ゾンタのガバナンス構造（地区とクラブのガバナンスを含む）をどのように合理化し、近代化できるかを分析するためにワーキンググループを設置します。分析には、とりわけ、地区の役割、規模、構成、クラブのガバナンスを簡素化する可能性、国際大会の役割の探求、組織票決プロセスを簡素化する方法、および運営書の改正の可能性などが含まれます。この報告書は、バンクーバーで開催される2026年国際大会で最新のものが発表される予定です。
- 国際ゾンタにおける持続可能性と環境・社会・ガバナンス（ESG）問題の状況を分析し、必要に応じて内部方針を作成します。
- 最後に、2022-2024年と2024-2026年、2024-2026年と2026-2028年の2カ年で、継続性を確保するためにスムーズなリーダーシップの移行が行われます。

志を同じくする団体や支持者との協働

ゾンタの使命を推進し、発言力を拡大するために、ゾンタは志を同じくする組織と協力関係を築きます。

以下のような活動を行います：

- ゾンタの活動は、国連やその機関、アフリカ連合、欧州評議会、様々なゾンタのコーカス（女性部会）やその他の国別のアドボカシーグループとの連携に重点を置き、内外への情報発信を強化する。
- ゾンタは、2025年末までに少なくとも1つのグローバルパートナーシップを締結し、少なくとも2つの他のパートナーシップと共同声明を発表することを目標に、アドボカシーパートナーシップを探しています。さらに、2025年夏までに、ゾンタの教育プログラム（メンタリングやインターンシップなど）のためのパートナーシップの機会を模索します。
- 女性の地位委員会（CSW）は、年に一度、ジェンダー平等のために会合を開催し、親睦を深め、志を同じくする他の組織との架け橋となり、ゾンタスピリットを体験し、より知識豊富で熱心なアドボケートとなる機会となります。国際ゾンタは毎年、女性の地位委員会の中で、ゾンタの戦略的重点分野に重きを置いたサイドイベントを少なくとも1つ主催しています。女性の地位委員会への国際ゾンタの代表団は、毎年前年比5%増加しています。
- 実現可能性調査を実施し、企業のスポンサーシップや、大学生、人事担当者、持続可能性やESGの専門家、コンプライアンスの専門家、その他関心のある個人を対象とした、ジェンダー平等に関する正式な認定コースや勉強会の提供など、別の資金源や収入源の選択肢を特定し、評価します。報告書は遅くとも2025年夏には会員に提示される予定です。
- 上記の実現可能性調査に加え、国際ゾンタが財政的に持続可能であり続けるために、少なくとも隔年で5万米ドルの追加収入を目標にスポンサーシップを募集します。また、ゾンタ女性財団への寄付を大幅に増やす為に、企業助成金を通じて長年の企業寄付者を取り込む可能性も検討します。

国際翻訳委員 矢崎和喜子

国際翻訳委員 西川ひろこ